

北海道学び推進月間の取組

釧路教育局
令和2年11月27日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のため、各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指してまいります。北海道学び推進月間では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われ、春と秋の特色ある取組を紹介いたしますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道弟子屈高等学校（北海道春の学び推進月間の取組）

校内研修における単元配列表の作成と活用

北海道弟子屈高等学校では、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校期間を活用し、単元配列表を用いた校内研修を実施し、学びの保障に向けて、教科横断的な視点から効果的な学習指導案等を思案しました。他教科の学習内容や実施時期を意識して、学習順序の見直しについて検討するなど、教科間の連携がより深まる等の成果が見られました。また、休校明けには世界史A、倫理、コミュニケーション英語Ⅲの3科目で同じテーマを扱い教科横断型授業が実践されました。



【単元配列表】

【教科横断型授業実践例～「『国際平和』とは」～】

世界平和をテーマに、英語科及び地理歴史科それぞれからのアプローチにより、歴史的意義等を正しく理解した上で、生徒が自分の意見や考えをまとめ英語で発表し合いました。

○ 浜中町立茶内小学校（北海道秋の学び推進月間の取組）

読書活動を通じた、主体的に学ぶ子どもの育成

浜中町立茶内小学校では、読書を通して図書に親しみ、豊かな心を育むとともに、積極的に学習に役立て豊かに表現をする力を育成する取組を実施しています。



【公開授業の様子】

特に、第5学年では自分の選んだ本を紹介する方法として「ビブリオバトル」を取り入れました。浜中町の図書室司書と教員と一緒にビブリオバトルを実施したことにより、児童は友達に本を紹介したいと思いを高め、学習活動を行っていました。

11月19日（木）に実施された公開研究会の研究協議では、同校の教諭から「ビブリオバトルを取り入れたことにより児童の読書量が増えるとともに、借りる本の種類も多様になった」などの声が寄せられ、読書活動の取組と学習成果を知っていただくよい機会となりました。

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆

北海道弟子屈高等学校1年 藤本 星波 さん
「すこしずつ 知りたいことから はじめよう」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆

標茶町立中茶安別小学校4年 佐藤 乃依 さん
「この勉強 力にするのは 自分自身」

鶴居村立下幌呂小学校4年 大沼 諒真 さん
「あきらめず もういちど挑戦 がんばるぞ！」

浜中町立茶内中学校1年 落合 瞬 さん
「学ぶこと 新たな未来を 切り開く」

北海道弟子屈高等学校2年 樋川 結稀 さん
「学びは君を裏切らない」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。